

ワールドスケートジャパン主催ならびに関連大会開催に際してコロナ感染予防対策ガイドライン

2020年8月1日

2020年9月15日更新

※ 内容は最新の情報に基づき適宜更新いたします。

【はじめに】

大会の開催にあたっては政府の方針、行政判断、開催地都道府県・市区町村の指針に準拠し、地域の感染の状況により十分に感染対策をしたうえでの開催をお願いします。

私たちのスポーツの大会から新たな感染者を出さないように主催者／管理者は十分な感染予防の準備をすること、また参加者全員が感染予防対策を理解し、協力することが大切です。

本ガイドラインは下記の資料に基づいて作成したものです。

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」令和2年5月14日 発行
公益財団法人 日本スポーツ協会/公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会

[▶スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン \(PDF : 402KB\)](#)

ガイドラインとともに開催にあたってのチェックリスト項目といたします。

【大会開催の前提条件】

1. 緊急事態宣言・都道府県間の移動禁止が解除されていること。
2. 開催地域自治体でのスポーツイベント開催の承認がうけられていること。
3. 参加者全員の健康状態の把握・管理ができる体制を整えること。
4. 下記ガイダンスに沿った運営ができること。

※ ワールドスケートジャパン主催大会を開催する場合には、上記を満たした上、大会の開催要項とともにチェックシートをワールドスケートジャパンに提出、開催の承認を受けることといたします。

参考資料

【大会開催・参加にあたっての一般留意事項】

[▶スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト \(PDF : 920KB\)](#)

[▶スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<概要> \(PDF : 584KB\)](#)

【大会前】

[1] 運営組織対応

- (1) 本ガイドラインチェックリストに関する準備を完了させること。
- (2) 運営に関するマニュアルを作成し大会役員・審判・施設管理者に周知すること。
- (3) 大会参加要項には感染防止策への協力の要請を織り込むこと。
- (4) 大会参加・運営に伴う移動・宿泊に関しては国土交通省・観光庁等関連する諸機関の指針に準拠すること。
- (5) 大会開催中の中止判断プロセスを明確にし、明示すること。
- (6) コロナ感染症が重症化しやすい（65歳以上、基礎疾患がある等）役員は原則として委嘱しないこと。
- (7) 1日の競技大会参加人数を設定したうえでプログラムを設定すること。
- (8) 大会中止時の返金の方針を明確にすること。

[2] 参加選手への対応

- (1) 大会時・終了後の連絡先の情報提示と2週間前からの体調管理及び検温を実施し、記入したチェック表の提出を必須とすること。
- (2) 体調管理表が提出できない場合は大会への参加が取り消される事を周知すること。
- (3) 大会当日の体調不良、発熱の場合は来場しないように要請すること。
- (4) 運動時以外はマスクを着用する事を周知すること。
- (5) 自己判断、体調不良による欠場については制裁を科さないこと。
- (6) 厚生労働省提供の接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨する。

[3] 観戦者への対応

- (1) 3密を避け、声をあげての応援を禁止とする。大きな声での会話の自粛を依頼する。
- (2) 観戦者人と人との間をあける。可能であれば立ち位置等に目印をつける。
- (3) 競技者と接触をしないよう要請する。
- (4) 各クラブ関係者・選手保護者については大会時・終了後の連絡先の情報提示を必須とすること。
- (5) 厚生労働省提供の接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨する。

[4] 大会スタッフ・ボランティアへの対応

- (1) 大会時・終了後の連絡先の情報提示と2週間前からの体調管理及び検温を実施し、記入したチェック表の提出を必須とすること。
- (2) 体調管理表が提出できない場合は大会への参加が取り消される事を周知すること。
- (3) 大会当日の体調不良、発熱の場合は来場しないように要請する。
- (4) 大会開催時はマスクを着用すること。

- (5) 競技者には必要以上に接触をしないようにすること。
- (6) 選手・役員が触れる場所、用具等はこまめに消毒を実施すること。
- (7) 厚生労働省提供の接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨する。

[5] メディア対応

- (1) 大会時・終了後の連絡先の情報提示と2週間前からの体調管理及び検温を実施し、記入したチェック表の提出を必須とすること。
- (2) 体調管理表が提出できない場合は大会への参加が取り消される事を周知すること。
- (3) 大会当日の体調不良、発熱の場合は来場しないように要請する。
- (4) 大会開催時はマスクを着用すること。
- (5) 競技者、役員には必要以上に接触をしないようにし、導線を分けること。
- (6) 選手へのインタビューについても距離を取ったうえで決まった場所で行うこと。
- (7) 厚生労働省提供の接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨する。

[6] 大会開催施設対応

- (1) 連絡先情報のない人は入れないエリアを明確にすること。
- (2) 大会スタッフと選手の導線を分けること。
- (3) 観客・メディアと選手の導線を分けること。
- (4) 待機場所などは3密を避けるようマーキングをする事。
- (5) 役員・選手・観客が発症したケースを想定し、どこのエリアに滞在したかがわかるようにすること。
(滞在エリアの明確化)

【大会期間中】

[1] 受付での対応

- (1) 消毒液の設置。マスクの準備。可能であればアクリル板等の設置をすること。
- (2) 受付時の密集を避けるため時間、受付数の分散を行うこと。
- (3) 選手の体調管理表の受け取り、氏名・連絡先（クラブ連絡先）の確認。
当日の体調の状況を確認。大会参加可否判断が必要な選手は役員へ連絡をすること。
- (4) 大会中の注意事項の周知（注意事項の記載用紙の配布など）。
- (5) 机等の消毒をこまめに行うこと。
- (6) インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること。

[2] 競技参加者への対応

- (1) 招集時の 3 密回避を行うこと。
- (2) 大会開催中の体調変化の確認を行うこと。
- (3) 競技中・ウォーミングアップ・クールダウン中のマスク着用については競技者または指導者、保護者の判断によるものとする。
- (4) 競技後の手洗い、洗顔、消毒を促すこと。

[3] 競技説明・結果掲示

- (1) 競技説明時の 3 密回避を行うこと。
- (2) 結果掲示は Web、個別配布、分散設置を活用し掲示板の前に人だかりがないような工夫をすること。

[4] セレモニーについて

- (1) 開会式・閉会式の簡素化、中止の検討をすること。
- (2) 表彰式の順次実施。または中止・個別の賞典の授与を検討すること。
- (3) セレモニー開催の場合は写真撮影での密集を避けるため、撮影エリアの明示とメンバーの絞り込みをすること。

[5] メディカル体制の準備

- (1) 大会期間中の発症または発症が疑われるケースがあった場合の隔離対策、担当者を明確にすること。
- (2) 地元医療機関へ外傷患者にを扱うケースのあることを事前連絡・相談すること。
- (3) 地元医療機関へ大会期間中の発症・発症が疑われるケースの連絡先、対応について連絡・相談すること。

[6] 競技種目ごとの配慮事項

※各カテゴリー特有の配慮事項に関しては完成次第追記いたします。

- ① アーティスティック
- ② アルペン・ダウンヒル
- ③ インラインフリースタイル
- ④ インラインホッケー
- ⑤ スケートボード
- ⑥ スピード
- ⑦ ローラダービー
- ⑧ ローラーフリースタイル
- ⑨ ローラーホッケー

[7] その他の留意事項

- (1) 提出書面の保管期間は 1 カ月とする。
- (2) 個人情報の取り扱いについて要項に明示すること。

【大会終了後】

[1] 大会会場への対応

- (1) 施設の消毒を実施すること。
- (2) 機材の消毒を実施すること。

[2] 参加者への周知事項

- (1) 参加者（競技者・スタッフ・観客・施設管理者を含む）に対し大会終了後 **2 週間**以内に発症があった場合は大会主催者への報告をする事を義務付けること。
- (2) 大会参加者から発症の報告があった場合は大会参加者への連絡並びにホームページ、SNS 等で情報を公開すること。
- (3) 開催自治体に対して報告を実施し、対応について指示を受けること。